

TPCマーケティングリサーチ株式会社
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-4-2 なにわ筋SIAビル8F

TEL 06-6538-5358

FAX 06-6538-6531

HP <http://tpc-cop.co.jp/>

日々是好日

あけましておめでとうございます。化粧品担当の福原です。
本年も宜しく願い申し上げます。

さて、いよいよ2018年が始まりました。皆様はお正月如何お過ごしでしたでしょうか？ お正月といえば、初詣、おせち料理、バーゲン、福袋…などが連想されますが、なかでも福袋は化粧品業界でも年々取り入れている企業が増えているように思います。価格のお得さに加え、様々な商品がセットになっていることから、新規獲得商材としても活用されています。

また、今年は2月に平昌オリンピックが開催されるほか、9月には有名歌手の安室奈美恵が引退することも大きな話題となっています。安室奈美恵といえば、コーセーのメイクアップブランド「エスブリーク」のイメージキャラクターを務めたことも記憶に新しいかと思えます。同世代の女性は彼女に憧れて同ブランドを使い始めた方も多いのではないのでしょうか。このように少し寂しい話題もありますが、新しい1年の始まりということで、何か目標をもって、元気よくスタートしたいと思えます。

私は昨年弊社に入社し、今回初めて巻頭コメントを担当させていただくため、本ニュースレターをご愛読いただいている皆様とは今回が初めてのごあいさつとなります。まだまだ化粧品に対する知識や理解は未熟ですが、今年は新しいことにも積極的にチャレンジし、しっかりと成長できる1年にしたいと思います。

また、今月下旬には「通販化粧品の市場分析調査」の最新版を発刊致します。近年成長を続ける通販市場における化粧品メーカーの動向についてまとめておりますので、是非ご検討いただけますと幸いです。

それでは今月号もどうぞお楽しみくださいませ。

(福)



News1 今月の気になる業界ニュース

ポーラ・オルビスHD、新研究開発体制 他

News2 今月の気になる新製品

「ディオール、新スキンケアライン 他

News3 今月の気になるプロモーション

メビウス製菓、レシピアプリとコラボ 他

News4 今月の気になるヒット商品

2017年のヒット商品

News5 今月の気になるデータ

54%

News6 今月の「まとめてみました」

変化コスメ

News7 近刊資料のご案内

News8 TPC社員のお気に入りアイテム

News9 TPCレポートのご案内

今後の発刊予定

今月の気になる業界ニュース

ここ1ヶ月くらいの間で発表のあった化粧品業界のニュースを、いくつかピックアップして簡単にご紹介しています。(菊)

花王、新生産棟完成

花王は、2017年11月に台湾の新竹工場の敷地内で建設を進めていたビューティケア製品の新生産棟を完成させました。既存の設備と合わせると、ビューティケア製品の生産能力は従来の約2倍になるとしています。同棟ではまず、「ビオレ」「メンズビオレ」などのスキンケア、「エッセンシャル」「リーゼ」などのヘアケアを生産し、事業展開に応じて生産品目を拡大していく予定です。

シーズHD、セドナエンタープライズを子会社化

シーズHDは2017年11月、20~30代顧客を中心とした美容脱毛/痩身エステ・サロンを展開するセドナエンタープライズを子会社化させました。今後は、同社のエステ・サロン事業の基盤強化のほか、ドクターシーラボ事業の化粧品開発を活かした若年層向け化粧品ブランドの開発を行っていくとしています。

カネボウ化粧品、免税店で販売

カネボウ化粧品は、2017年12月より「KATE」を関西国際空港内免税店『AAS DUTY FREE SHOP』に導入し、トラベルリテール事業を本格スタートしました。免税店では初となる専用カウンターでの展開を図り、カウンター上部には大画面モニターを設置。今後は、国内主要空港内免税店への導入を順次拡大していく計画です。

コティ、「バーバリービューティー」閉店

コティは、2017年12月で「バーバリービューティー」を販売する国内の全店舗を閉店しました。同ブランドは、同年4月の資生堂による契約終了後、同社がライセンス権を取得。今後は、ブランド公式サイトで引き続きメイクアップアイテムを販売するほか、フレグランスは新規代理店を通じて販売を再開していくとしています。

ポーラ・オルビスHD、新研究開発体制

ポーラ・オルビスHDは、2018年1月に研究体制を刷新しました。これまでは、ポーラ化成工業が研究開発を手がけていましたが、グループ全体における研究統括機能としてポーラ・オルビスHDに『Multiple Intelligence Research Center (MIRC)』を新設。またポーラ化成工業には、『Frontier Research Center』を新設し、MIRCで決定した戦略に基づいた研究を進めていくとしています。

小林製薬、通販事業の商品開発強化

小林製薬は2018年1月、通販事業部に研究開発部を新設し、通販向けの商品開発を強化します。同部署では、スキンケア研究開発グループ、ヘルスケア研究開発グループを設置し、通販における両分野に注力していく見込みです。

シーボン、中国進出

シーボンは2018年1月、エステ併設店舗1号店を浙江省寧波市にある高級ホテルにオープンし、中国に進出します。同社はこれまで、代理店を通じて香港、台湾、ロシアで商品を販売してきましたが、中国では美容体験を重視する傾向が高まっていることから、同国では海外初となる肌のお手入れサービスやネイルアートなどを行うエステ併設店舗を展開。また同社は現在、海外売上高比率が1%未満であることから、今後10年をめどに10%に高めるとしています。

資生堂、音声サービスの提供を開始

資生堂は、Amazonが提供するクラウドベースの音声サービス『Amazon Alexa』の日本展開に合わせて、美容アドバイスを音声で伝えるサービス『資生堂スキル』の提供を開始します。同サービスは、“資生堂を始めて”などと話しかけると起動し、その日の気象情報と美容面でのアドバイスや、ベースメイクで自分が気になる肌悩みをカバーする方法を音声で伝えるとしています。

今月の気になる新製品

今月発売される新製品の中から、注目の商品をご紹介します。(福)

1/1

SHISEIDO、アッパーミレニアル向け

「エッセンシャルイネルジャ」は、神経科学に着目し“肌感度”にアプローチした新スキンケアライン。25～34歳のアッパーミレニアル世代に向けた製品群となっています。同社の調査によると、30歳前後からスキンケアの効果実感が得にくくなると感じる傾向があることから、“肌の感覚の変化”がスキンケアの効果実感の意識変化に関わっていることに着目して開発。乾燥を防ぎ、滑らかな肌に導く同社独自の『レニユラテクノロジー』を使い、心地よい浸透感をもたらすとともに、乾燥によるくすみなどの肌ダメージをケアする処方となっています。

1/1

クラランス、新保湿ライン

「イドラエッセンシャル」は、日常生活で肌が直面する気温や湿度の変化による乾燥に着目した新保湿ライン。既存ラインの「シュペール イドラタン」をバージョンアップしたもので、保湿セラムのほか、テクスチャーの異なる4種のクリームを揃えています。同ラインは、お風呂上りなど、気温や湿度の変化によって肌がダメージを受ける“熱ショック”に着目。さらに、日常生活において平均で1日17回もの“熱ショック”を受け、それにより肌の保湿機能にダメージを与えることが判明。そこで、多くの温度変化にさらされる過酷な環境下でも水分を十分に保持するセイロンベンケイを配合し、保水性やバリア機能の向上を謳っています。

1/1

ディオール、新スキンケアライン

「カプチュール ユース」は、“予測医学”と呼ばれる最先端医学からインスピレーションを得て誕生。症状が出てからケアするのではなく、肌の老化を一人ひとりのコンディションに合わせて予防し、未来のエイジングを止める新スキンケアラインとなっています。また、同社の研究によるとエイジングの兆しは人それぞれであることから、一人ひとりの肌悩みに寄り添う「カスタムメイド型」スキンケアとして5種類のセラムを用意し、肌ニーズや好みに合わせてカスタマイズできる処方を採用しています。

1/3

エスティローダー、エイジングケア美容液

「パーフェクショニストF+L セラム」は、美容皮膚科医や整形外科医などプロフェッショナルの施術から着想を得たエイジングケア美容液。バイオロジーに基づいて開発を行い、頬やほうれい線、顎のほか、顔全体の肌に働きかけるのがポイントとなっています。さらに、肌の表面を整える『リサーフェス効果』、構造を強める『リビルド効果』、隙間を埋める『リフィル効果』の3つのアプローチで肌に働きかけます。同商品は、本国の米国に次ぎ、日本が世界で先行発売となります。

1/11

ザ・ボディショップ、自然派エイジングケアシリーズ

「ルーツオブストレングス」は、中国伝統の智慧に基づき、“植物の根”に注目した自然派エイジングケアシリーズ。3つのパワフルな根『ジンジャールートエキス』『高麗人参エキス』『ナギイカダ根エキス』を配合し、乾燥に悩む大人の肌に関するおいとハリを与え、引き締まったしなやかで弾力のある肌へ導く効果を訴求しています。

1/19

クラシエ、疲れ髪にツヤを与える新ライン

クラシエホームプロダクツは、「ディアボーテ HIMAWARI」より新たに「グロス&リペア」ラインを発売。同ラインは、35歳以上の女性の悩みとして挙げられる髪質の変化に着目。年齢を重ねることで生じる“髪のゆがみ”によって光が乱反射し、綺麗なツヤが出ないことが髪の衰えを実感しやすくしていると判明したことから、髪のゆがみ補正効果を訴求しています。

1/24

タカミ、唇用美容液

「タカミリップ」は、肌代謝に着目し、クロレラエキスやビタミン群を配合することで外的刺激を受けやすい唇を根本から健やかな状態へと導くことを訴求。さらに、唇の構造にアプローチする成分を配合し、1本でエイジング、くすみ、荒れ予防、保湿、保護のケアを同時に行うことができる処方となっています。また、リップクリームを塗るなどの一時的なケアではなく、本来持つ美しさを引き出すために必要な“唇のスキンケア習慣”として、1日10回塗ることを提案しています。

今月の気になるプロモーション

最近のプロモーションで気になったものについて、いくつかピックアップしてご紹介しています。(松)

メビウス製薬、レシピアプリとコラボ

美白オールインワンコスメを展開するメビウス製薬は、1,000万ダウンロードを達成した人気の動画レシピアプリ「Kurashiru」と初コラボし、オリジナル動画レシピを配信。美容にいい食材をたっぷりつけた「ビタミンで美活！鶏肉とかぼちゃの簡単トマト煮込み」の作り方を、簡単で分かりやすい1分レシピ動画で紹介しています。

ESS、「パパウオッシュ」とコラボ

ESSの「パパウオッシュ」はカレルチャペック紅茶店とのコラボキャンペーンを開始しました。同商品の詰め替えボトルを購入した人を対象に、同店のオーナーである山田詩子デザインのオリジナル空ボトルをプレゼント(限定10,000個)しています。

ウテナ、ゆずギフト進呈

ウテナは11~12月に「ゆず油 ヘアケアオイル」のキャンペーンとして、柚子の産地としても知られる高知県北村産の柚子をプレゼントするキャンペーンを実施。同キャンペーンは、今年の新たな柚子の収穫を記念して実施したもので、ウェブサイトアンケートに答えた人の中から抽選で20人に同製品と柚子の詰め合わせギフトをプレゼントしています。

ちなみに、同オイルは発売から累計出荷数が240万個を突破する人気アイテムとなっています。

ポーラ、シワ改善化粧品を値下げ

ポーラは2017年1月に発売した「リンクルショット メディカルセラム」の販売が好調なのを受けて、2018年1月1日より従来の15,000円から1割安い13,500円に値下げしています。

同商品は、日本で初めて「シワ改善」を謳うことのできる化粧品として話題になり、初年度120億円以上を売り上げる大ヒットを記録。これに伴い、「生産効率が飛躍に向上した」として今回の値下げを決めた模様です。

市場では、資生堂が参入を果たすなど競争が厳しくなっていますが、同社は値下げによりリピート率の向上につなげ、2018年も100億円以上の売上を目指す考えです。

ファンケル、販促を強化

ファンケルの看板アイテムのひとつ「マイルドクレンジング」は昨年、発売から20周年を迎えました。同年11月には数回目となるリニューアルも実施しましたが、これに合わせて商品認知をさらに高めるため販促を強化しています。

例えば、11月に開催された大相撲の秋場所では懸賞幕を掲出。また、同商品の購入時にプレゼントする限定のサンプルパウチには、相撲をデザインした「おはぎやま」を採用し、SNSでの拡散を図っています。さらにウェブでは、登録した約2,000人を「マイクレ大使」に選定し、自身のSNSに使用実感を投稿してもらうキャンペーンを実施しています。このほか、TVや動画配信アプリ「TVer」でもCMを展開するなど、幅広い世代に向けてアピールしています。

プロアクティブ、「大人ニキビ」もターゲットに

プロアクティブカンパニーは、昨年12月より「プロアクティブ」の新CMを展開しています。同ブランドはこれまで10代のニキビを主要ターゲットにしてきたため、イメージキャラクターも10代のタレントを起用することが多かったのですが、新CMでは新たに小島瑠璃子氏を起用。同氏が「大人ニキビ」について悩んでいたことを紹介するなど、従来よりも年齢層がやや上の層の取り込みを図っています。



今月の気になるヒット商品

最近の化粧品市場でヒットしている商品を、ひとつご紹介しています。(富)

今回は2017年にヒットした商品をいくつか取り上げてみました。2017年のヒットキーワードは、やはり“シワ”と“テイント”。出来てしまったシワそのものを改善するという商品が登場したほか、色もちの良いテイントと呼ばれるアイテムに注目が集まりました。

2017年のヒット商品

リンクルショット メディカルセラム(ポーラ)

2017年9月時点で112億円を突破!“シワを改善する”という新たな訴求がユーザーに受けられています。

エリクシールシュペリエル エンリッチド リンクルクリーム S (資生堂)

発売から3ヶ月で出荷数100万個を突破!“シワ改善”の訴求に加えて、ポーラの「リンクルショット」より約半値で、手に取りやすいこともヒットの要因となっています。

LIP38℃ リップトリートメント (フローフシ)

発売から2週間で30万個販売(約3億円)!“理想的な「色温度 = 38℃」の血色感が美しい”というコンセプトで、SNSを中心に話題となり、月産30万本でも生産が追いつかないほどとなりました。

オペラ リップティント (イミュ)

発売から1年が経過し、メーカー出荷数170万本を突破!売上No.1の05番コーラルピンクは、発売当初からSNSで“塗るだけで花嫁のような幸福感の出る色”として話題となり、“花嫁リップ”の愛称で人気を博しています。

ヴォリュプテ テイントインバーム (イヴ・サンローラン・ボーテ)

“発売日は1秒に1本売れた”リップ。インスタ映えするパッケージで、若年層を中心にSNSで発売前から高い反響で世界的なヒットに。「ルージュヴォリュプテシャイン」を超え、リップカテゴリではブランド史上最高の売上を記録しています。

今月の気になるデータ

自社・他社を問わず、最近の気になるデータやマーケティングに使えるようなデータをご紹介します。(松)

54%

『アットコスメ』を運営するアイスタイルより先般、『@cosmeビューティアワード2017』が発表されましたので、簡単にご紹介したいと思います。

それによると、2017年の受賞商品の傾向としては、「サボリーノ 目ざまシート」のように「頑張らなくても賢くキレイ」を叶える商品が人気だったそうです。これは、ふきとり化粧水市場の盛り上がりにも重なるところがあり、“ちょっとしたひと手間美容”が今のトレンドになっています。

また、受賞商品の過半数にあたる**54%**がプチプラ(スキンケアの単価2,000円以下、ヘアケア・ボディケアは1,000円以下)商品だったそうで、同時に、2016年に比べて新製品(発売から受賞まで1年未満)の比率が上がり、ロングセラーの比率が下がったとのこと。このことは、美容への消費意欲が比較的旺盛であると分析しています。

さて今年はどうな1年になるのでしょうか?

今月の「まとめてみました」

化粧品のアイテムやプロモーション・企業動向などを、さまざまな切り口でまとめてご紹介しています。（菊）

変化コスメ

今回は、『変化コスメ』についてまとめてみました。

前回の『温感コスメ』でもお伝えしましたが、化粧品は今、“効果”と“実感”が求められています。

そこで各社が近年、工夫を凝らしているのが①複数の剤型を組み合わせることで変化させる、②何かしらの変化を加えるという“変化コスメ”です。①は、複数の剤型を組み合わせることで各剤型のメリットを生かしてデメリットを補い、②は変化させることで肌への効果を高めています。また、使用時に変化を感じることは消費者の実感にもつながります。

①の代表例としては、固形バームが肌温度によってオイル状に変わるクレンジングバームが挙げられますが、近年はジェルが泡になる、バームがパウダーなるなどの変化、スキンケアに限らずメイクアップなど分野も広がっています。

②については、肌に触れることでジェルの感触が変わる、泡が増えるなどがあり、クリスチャン・ディオールの「プレステージ ユイルド ローズ」では、カプセルがはじける変化があります。同商品は、1万個以上のローズマイクロパールカプセルがオイルに入っており、肌になじませることでカプセルがはじけて、油性、水溶性の栄養成分を放出するとしています。

このほか、変化することで“楽しい”“面白い”といった感性にもつながっており、消費者のSNS共有や体験イベントなど販促面でも大いに活用できることから、今後はさらに品目が増えるとみられます。

<主な変化コスメ>

企業名・商品名 (発売日)	分野・種類	特徴
花王 「ピオレ うるおいジェル」 (2014年10月)	ジェル： とろみ→さらっと	・とろみのあるみずみずしいジェルを肌になじませる ・肌表面に“パック膜”ができ、さらとした感触に
エテュセ 「ジェルムース」 (2015年2月)	ジェル→泡	・ジェルがクリーミーなモコモコ泡に変化 ・毛穴の奥の汚れをかき出してすっきり洗い上げる洗顔料
日本ロレアル「イヴ・サンローラン・ポーテ トップシークレット モイスチャーエクラ」 (2016年1月)	ジェル→水滴→ パウダー	・肌の上でジェルから水滴に変化し、さっと肌に浸透 ・さらにパウダー状に変化し、テカリのないつるんとした肌に
ロート製薬 「肌ラボ 白潤冷感美白シャーベット」 (2016年3月)	シャーベット→ クリーム	・シャーベット状の製剤が肌にひんやり溶け込む ・べたつかないクリームで夏の使用に最適
資生堂「エリクシール ルフレ バランス バブル」 (2017年7月)	泡→増える	・肌になじませるときめ細かな泡がどんどん増える ・毛穴の奥まですっきりと洗い上げる
豆腐の盛田屋「Soy's simple life 生豆乳クレンジングバーム」 (2017年4月)	バーム→ミルク	・人肌でとろけて素早くミルク状に変化 ・生豆乳配合、天然由来成分 99%以上
ポーラ「B.A パウダリバームファンデーション M」 (2017年9月)	バーム→パウダー	・オイルリッチ感触のバームが肌に溶け込むようにフィット ・その後さらとしたパウダーに変化
クリスチャン・ディオール 「プレステージ ユイルド ローズ」 (2017年9月)	カプセル→ はじける	・オイルに1万個以上のローズマイクロパールカプセルを配合 ・なじませると油性、水溶性の栄養成分を放出
エイボン・プロダクツ「デュアルフェイス 2way リムーバル ウォッシングジェル」 (2017年9月)	ジェル→泡	・乾いた肌にジェルをなじませてメイクを落とす ・水を加えることで泡に変化し、洗顔料としても使用
カネボウ化粧品「KATE ザベースゼロ パウダースキンメイカー」 (2018年2月)	リキッド→ パウダー	・肌に塗布すると余分なオイルが揮発し、粉が均一に残る ・なめらかさと密着感がありながら、べたつきがなくさらさら

近刊資料のご案内

発刊予定のレポートをご案内しています。ご試読・ご購入のご要望などございましたら、お気軽にお問い合わせください。



2018年 通販化粧品の市場分析調査

発刊予定日：2018年1月24日 / 頒価：87,000円（税抜）

市場編

1. 調査概要
2. 通販市場の概況
3. 通販化粧品市場の概況
4. 通販化粧品の市場分析
5. 通販化粧品の顧客分析
6. 通販化粧品の商品分析
7. 通販化粧品の販売方法分析
8. 今後の展開

個別企業編

- ◆株式会社ディーエイチシー
- ◆オルビス株式会社
- ◆株式会社ファンケル
- ◆株式会社ドクターシーラボ
- ◆株式会社ハーバー研究所
- ◆株式会社再春館製薬所
- ◆株式会社アテニア
- ◆株式会社山田養蜂場
- ◆新日本製薬株式会社
- ◆ドクタープログラム株式会社
- ◆株式会社ニッピコラーゲン化粧品
- ◆株式会社富士フィルムヘルスケアラボラトリー
- ◆株式会社ヤマサキ
- ◆ザ・プロアクティブカンパニー
- ◆株式会社アイム
- ◆ジーノ株式会社
- ◆株式会社キナリ
- ◆小林製薬株式会社
- ◆株式会社ランクアップ
- ◆株式会社メディプラス

調査項目 ※一部除く

1. 企業概要
2. 顧客特性
3. 展開ブランド
4. 品目数
5. 販売高
6. 販売方法
7. 受注・発送のフロー
8. 今後の展開

※発刊日・内容については、予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。



発刊日前日までに市場調査レポートをご購入頂いたお客様には、ご予約特典としてPDF版を収録したCD-ROM（通常価格10,000円+税）を無料進呈いたします。

TPC ビブリオテック



<http://www.tpc-osaka.com/>

☎ 0120-30-6531

9:00-17:00 土日祝除く

京阪神地区企業様限定！

無料

TPCインハウスセミナー

- 1 No.1表示の活用法と効果について
- 2 スキンケア・ヘアケアに関する調査
- 3 機能性表示食品市場の最新動向



詳細は弊社WEBサイトへ
<http://www.tpc-top.co.jp/news/12441/>



TPCレポートのご案内

今後の発刊予定をご案内します。気になる資料がございましたらお気軽にお問い合わせください！

※発刊日は、予告なく変更される場合がございます。予めご了承ください。

2018年 通販化粧品の市場分析調査

発刊予定：2018年1月24日
頒価：87,000円（税抜）

2018年 化粧品企業のグローバル戦略

発刊予定：2018年2月
頒価：87,000円（税抜）

2018年 スキンケアのアイテム別市場分析調査

発刊予定：2018年3月
頒価：87,000円（税抜）

2018年 美白スキンケアの市場分析調査

発刊予定：2018年3月
頒価：87,000円（税抜）



発刊日前日までに市場調査レポートをご購入頂いたお客様には、ご予約特典としてPDF版を収録したCD-ROM（通常価格10,000円+税）を無料進呈いたします。

8

発行元

TPCマーケティングリサーチ株式会社
〒550-0013
大阪府大阪市西区新町2-4-2 なにわ筋SIAビル8F

TEL 06-6538-5358

FAX 06-6538-6531

HP <http://tpc-cop.co.jp/>

オンラインショップ

TPCビブリオテック



<http://www.tpc-osaka.com/>